

平成 26 年度第 1 回軽米町再生可能エネルギー推進協議会議事録

○開催日時：平成 26 年 10 月 20 日(月)午後 1 時 20 分

○開催場所：軽米町役場 3 階会議室

○出席者数：委員 22 名中 20 名出席

○開会

(事務局)

皆様たいへんご苦勞様でございます。只今から、第 1 回軽米町再生可能エネルギー推進協議会を開催します。

○町長あいさつ

(事務局)

開会にあたり、町長からごあいさつを申し上げます。

(町長)

本日は、ご多忙中のところ第 1 回軽米町再生可能エネルギー推進協議会にご出席いただき感謝申し上げます。

当町では、現在鶏糞発電施設の整備が着工、日量 400 トンの鶏糞誌よりがなされる。また、太陽光については、全体で 215MW の発電計画されており、完成すれば日本一の発電の町となる。

さて、ここにきて、東北電力が承認の一時中断という報道がなされたが、当町の計画しているメガソーラー計画には影響はないものと考えている。

高家地区においても、事業化に向けて進めていくことになっている。

太陽光発電は、気温が 28℃が最適と言われている。また、高圧線がないとなかなか進まない。当町には、6 万ボルトと 15 万ボルトの高圧線が布設されており、適地となっている。

町土の約 8 割の 2 万ヘクタールが森林で、この有効活用対策として進めていきたいと考えている。

推進するに当たっては、町が主導的に推進できる体制が重要であり、この施設等の完成によって、町の活性化にもつながるものとして、関係機関等からのご意見等をお聞きしながら進めていきたい。

○委員委嘱及び委員自己紹介

(事務局)

委員の皆様にご委嘱状の交付を行います。

(町長が各席を回って、一人ひとりに委嘱状を交付)

○再生可能エネルギー基本計画(仮称)策定の趣旨説明

(事務局)

資料 2 再生可能エネルギー基本計画(仮称)策定の趣旨に基づき説明

○再生可能エネルギー法について

(事務局)

資料3に基づき説明

(事務局)

ここまでの説明に対しまして、何かご質問等がありませんでしょうか。なければ、全体説明後に質疑の時間がありますので、そちらでお願いします。

○協議会規約の承認

(事務局)

資料4 軽米町再生可能エネルギー推進協議会規約案について説明。

(事務局)

この件について、ご意見、ご質問はありませんか。

(委員)

本協議会の委員に、農業委員は入らないのか。

(事務局)

基本的に公職にある者は、入れないこととしております。

(委員)

代理出席も可能か。

(事務局)

代理での出席も可能との取り扱いで進めたいと考えています。

(事務局) 他にありませんか。なければ、本協議会の規約をこの案でご承認いただけますでしょうか。

(全員、異議なしで承認)

(事務局)

次に、本協議会の会長、副会長を選出したいと思います。どなたか立候補はありませんか。

(会場から事務局案はないかとの発言あり。)

(事務局)

事務局案という意見がありますが、事務局からの提案でよろしいでしょうか。

(会場から、異議なしという発言あり。)

(事務局)

それでは、事務局案としまして、会長に町長、副会長に元岩手大学副学長ということで提案をさせていただきます。皆さん、よろしいでしょうか。

(全員、異議なしということで決定)

○議事

(事務局)

これでは、議事に入りますが、進行は、会長であります町長の進行でお願いします。

(会長)

それでは、さっそく議事に入ります。(1)の再生可能エネルギー基本計画(仮称)の策定について、事務局から説明してください。

(事務局)

議事につきましては、基本計画策定業務委託業者から説明します。

(事務局 計画策定受託者)

それでは、再生可能エネルギー基本計画(仮称)について、計画の構成案及び策定の進め方を説明します。(パワーポイントを使用し説明)

(会長)

これに関して、何かご質問等はありませんか。

(委員)

全体的なスケジュールとして、この計画はいつを目指すものなのか。

(事務局)

今ご説明したとおり、現在計画されて進んでいる事業もある。一方小水力、風力などについては、これから検討していくものもある。最終的には、町総合発展計画に合わせていく。

(委員)

2020年度を目指すということによいか。

(事務局)

そのように理解していただきたい。

(会長)

他にありませんか。

(委員)

3回とも平日の開催で計画しているのか

(事務局)

基本的には、平日の開催で計画している。

(会長)

他にありませんか。

(委員)

会議の資料については、あらかじめ送付していただけないのか。この計画は、議会にも報告するのか。

(事務局)

できるだけ、事前に開催案内とともに、資料を添付できるようにしたい。議会に対しては、計画が策定された時点で報告したい。

(会 長)

他にありませんか。なければ次の軽米町の再生可能エネルギーを取り巻く状況について説明してください。

(事務局 計画策定受託者)

基礎情報、これまでの検討の経緯等について パワーポイントを使用し説明。

(会 長)

ただいまの説明に何かご質問はございませんか。

(委 員)

今の説明では、地熱の話は出てこなかった。軽米に地熱はあるのか。

(事務局)

地中熱の誤りである。

(委 員)

木質バイオマスはなぜ出てこないのか。

(事務局)

利用の可能性については検討されるべきものであると考えている。

近隣町村でも検討が進められており、当町においても面積の7～8割を占める森林の利用は考えていくべき。鶏糞バイオマス発電に木質チップを混燃する案もあるので、これから検討したい。

(委 員)

これから検討するのか。一番先に優先した方がいいような気がするが。

発電でなくてもいいので、間伐材を燃やしてお湯を沸かし、銭湯でも作ってもらえれば、お金で還元されるよりも町民は喜ぶのではないか。

(事務局)

木質バイオマスは採算の問題がある。

(委 員)

すぐ採算の話になる。手間の分は町民にも手伝ってもらったらどうか。

また、3ページの展開イメージの図は、エネルギーと資源の利用が混在していて、見づらい。2つを分けたらもう少しすっきりするのではないか。

(事務局)

説明で用いた資料は、平成22年度の検討結果そのままなので、今回その後の状況も含めて作り直しをしたい。

(委 員)

中小水力発電というのは、雪谷川のダムを考えているのか。折爪から来る小河川にも導入できるのではないか？

(事務局)

現在可能性があるとして考えているのは、雪谷川ダムである。マイクロ水力

としては、小さな溪流や水路も以前調査したので、可能性はある。

(委 員)

ミレットパークの所も適地があるように思う。

(会 長)

今回は事業者の皆さんにも参加いただいている。現在の進捗状況について、簡単にご紹介いただきたい。

(委 員)

折爪サービスエリアの東西、面積は約 300ha、125MW のメガソーラーを計画中。経産省への設備認定の申請、東北電力への連系接続の申込みは完了している。売電単価は 36 円/KW を確保している。地権者との利用協定は締結済みであり、現在はパネルの配置と防災計画を策定中。林地開発の申請は、振興局と相談しながら進めている。

着工は、折爪 SA 西側が来年 12 月頃の着工、東側が再来年 12 月頃の着工を想定している。それまでに法的な手続き、土地の契約を進めたい。売電開始は西側は 2017 年 12 月、東側は 2019 年の秋頃を予定している。

(委 員)

軽米第 1、第 2 については、東北電力の ID を取得し、1 来年には通電する見込み、第 2 は大規模であり、東北電力からは 47 ヶ月かかり、2019 年～2020 年あたりの通電を見込んでいる。第 3 は今年度の案件であり、東北電力からの回答はまだである。

(委 員)

土地の造成は遅れていて、10 月から着手した。試運転開始は、再来年の平成 28 年の 3 月、営業運転は 3 ヶ月後の夏頃を予定している。

(会 長)

軽米第 2 の 47 ヶ月というのは、送電線を接続するのにかかる時間ということで良いか？

(委 員)

その通り。予定地周辺に高圧の送電線がなく、東北電力が送電線を伸ばすのにかかる時間がその程度と聞いている。第 3 については敷地内を高圧線が通っているので、それほど時間はかからないと見ているが、まだ回答はいただいている。

(委 員)

林業行政から、若干お願いをしたい。区域設定として、保安林や危険箇所の説明があった。森林については、森林の整備を補助事業として行っている森林もある。補助事業で整備された森林については、転用制限が設定されている場合があるので、配慮していただきたい。

(委員)

同じく林業行政から、県有林事業の分収造林として林業経営を行っている森林がある。収穫時期前だがメガソーラーの開発をしたいという話が出ている。できれば外していただきたいが、どうしてもという場合は含めざるを得ない。今回の計画策定は町が主導して行うので、町の意見を含めるべきと考えるが、どのように考えているか。

(事務局)

町としても森林行政は行っており、これまでの経過はある。配慮すべき点もあるが、発電事業者、県と協議しながら、最も良い方向で計画づくりをしていきたい。

(委員)

メガソーラーの大規模なものが何カ所か示されているが、公共施設や民家の屋根など、町独自で行う小規模な太陽光発電はこの計画に入ってくるのか？

日照時間が長く、条件が良いのであれば、町民が出資して利益を上げるような方法もあるのではないか。

(事務局)

この計画の中では、大きな事業を示しているが、具体的なものを取り上げている。町では公共施設については太陽光発電の設置を進めている。各集落にも今後必要になってくるかと思うので、設置は進めたいと考えている。この計画では、区域設定で具体的な地番まで決める必要があり、具体的になっているものを取り上げていきたい。

(会長)

学校等では設置を進めている。町としても、ご意見を伺いながら進めていきたいとは考えているので、きたんなくご意見をいただきたい。

(委員)

計画そのものの評価については、どう考えているか。例えば、環境アセスメントでも評価の仕組みがある。今回の計画策定では、3回目までに計画を固めることになっている。どこかの段階で、計画についての評価をする段階があるのか。

(事務局)

計画については、町の他の計画と同じように、このような場で毎年確認をしていきたいと考えており、事業を進めながら評価していく。

(委員)

この計画はこの中で検討して、了解が得られれば進める、新たな事業が持ち上がったなら計画を見直すという考え方か？

(事務局)

環境調査についても、本来は不要なものを町独自で事業者をお願いして実施してもらっている。同じ流れで今後も進めていきたいと考えている。

(委員)

環境アセスメントについては、個々の事業者が進めていくのか？

(事務局)

そのとおり。

○連絡事項

・今回は説明の中で11月4日とお話ししたが、都合が悪いという委員が複数おられたので、改めて検討してご案内する。

(副会長)

この地域で再生可能エネルギーに携わってきたが、なかなか具体化しない中で、ようやく形になるものが出てきて、一歩進んだと思っている。

震災復興の関係で多数の案件が進んでいるが、売電して地域外へ送電するだけでは、地元の振興につながらない。今の形では地元で電気が使えるようになっていない。それなりの土地代が入ってくるので、地元にお金が落ちると思うが、それ以外の面でも地域振興につながるならば、とても期待できる。

消滅可能性自治体の研究や沿岸域の復興が問題になっている中で、軽米町は人口減少の速度が低下するなど、明るい兆しも見えている。そういった部分にお金を使えるならば、希望が持てるかもしれない。企業誘致が言われている中で、今回の件は雇用には結びつかないかもしれないが、関連産業の振興には結びつく。

廃棄物最終処分場はお金は動くかもしれないが、地域の振興には結びつかない。再生可能エネルギーならば、その可能性もある。持続可能な地域づくりを目指す中で、期待が持てるのではないか。ぜひうまく行って欲しいと願っている。

○閉会

(事務局)

以上で本日の会議を閉じます。ありがとうございました。